

◆◆◆◆健康くさつ21（第2次）中間評価概要◆◆◆◆

資料1-1

健康くさつ21（第2次）

計画期間：平成25年度～平成34年度

【基本目標】

健康寿命の延伸

（65歳の平均自立期間の延伸）
策定時（平成23年度）：19.43年
目標値（平成28年度）：19.71年

【基本理念】誰もが健康で長生きできるまち草津

～健康寿命の延伸と健康格差の縮小～

中間評価による見直しの結果

- ◆計画期間：1年延長 ・「平成25年度～平成34年度」⇒「平成25年度～平成35年度」
- ◆基本的な方向：今後も継続、下記のとおり
- ◆重点施策：重点施策を見直し重点的に管理する評価指標を決めた ・「3つの重点施策」⇒「5つの重点施策」
・重点施策ごとの重点的に進捗管理する評価指標を定めた
- ◆基本目標・数値目標：基本目標は他計画の表記と合わせ、わかりやすくした。その他数値目標についても、現状の達成度から見直した。（その他数値目標は中間評価（案）のとおり）
・基本目標「65歳の平均自立期間の延伸」⇒「〇歳の平均自立期間の延伸」

中間評価の方法

- ・草津市の現状や健康都市宣言および計画の策定や地域共生社会の動きといった情勢の変化、他の計画との整合性を考慮した上で、指標目標の達成度や関連事業の進捗状況から、指標および基本的な方向、重点施策などについて評価を行った。
- ・これら評価をもとに、関係課会議および健康づくり推進協議会、健康増進計画推進部会において評価内容を協議・検討し、中間評価を行った。

主な基本的な方向の評価

- ・生活習慣病の発症予防・重症化予防と糖尿病の発症予防と重症化予防に向けて糖尿病対策ガイドラインの策定や健診実施機関である健康保険組合などと連携し、働く世代の健康づくりの取り組みを強化する必要がある。
- ・子どもの頃から健全な生活習慣の確立に向けて、子どもたちの親の世代、働く世代の健康づくりと切れ目のない相談支援を行う草津市版ネウボウ等を推進が重要である。
- ・一人ひとりが生活習慣の改善に取り組む必要があり、個人の生活習慣の改善には、子どもの頃から健全な生活習慣の確立に向けた取り組みが重要である。
- ・各まちづくり協議会の健康宣言の実現に向けた地域で取り組む健康づくりの推進が必要。
- ・企業、団体、大学等との多種多様な協働による健康づくりの推進が必要である。

主な重点施策の評価

- ・糖尿病対策ガイドラインに基づき、健康増進・発症予防、早期発見・早期対応、適正治療・重症化予防を柱に糖尿病の発症予防と重症化予防の推進を重点的に取り組んだ。
- ・子どもの頃から健全な生活習慣を身につけるため、各関係団体と連携した取り組みを進める必要がある。
- ・一人ひとりだけでなく、地域で取り組む健康づくりを進める。
- ・企業や団体、大学等との多種多様な協働による健康づくりの取り組みや仕組みを作る必要がある。

計画期間：平成25年度～平成35年度

【基本目標】

健康寿命の延伸

（〇歳の平均自立期間の延伸）

中間評価時点：男81.64年 改定目標：男83.48年
（平成27年度）女84.13年 （平成35年度）女84.61年

基本的な方向1 生活習慣の改善

基本的な方向3 社会生活を営むための心身機能の維持・向上

基本的な方向2 生活習慣病の発症予防と重症化予防

基本的な方向4 健康を支えるための地域の絆による社会づくり

重点施策1 糖尿病の発症予防と重症化予防の推進

重点評価指標…◆糖尿病有病者の増加抑制

糖尿病の正しい知識の普及や生活習慣の改善に向けた各種の周知啓発をさらに進めます。医療と連携し、健診による疾病の早期発見・早期治療、保健指導の実施率の向上を目指すこと、さらに疾病がある場合には重症化予防に向けての取組を進めていきます。

取組み…「特定健康診査の実施」、「特定保健指導の実施」、「特定健康診査の受診、特定保健指導の参加勧奨」など

重点施策2 子どもの頃から健全な生活習慣の確立

重点評価指標…朝食を食べない子どもの減少

保育所等や学校等での食・運動等の健康づくりの取組を引き続き推進します。妊娠期から子育て期までの切れ目のない相談支援により、安心・安全に子育てができるような施策の推進や、地域での食や運動の取組をすすめます。

取組み…「くさつヘルスアッププロジェクト」、「食育だよりの発行」、「野菜の栽培・収穫を通しての食育の推進」、「赤ちゃんの職業養相談」、「草津市児童生徒歯と口の健康づくり推進事業」など

重点施策3 働く世代の健康づくり

重点評価指標…運動習慣者の増加

働く世代が所属する企業や団体、協会けんぽ等の被用者保険組合と連携した健康増進対策へのアプローチとして、健康都市宣言の賛同企業への働きかけ、企業と連携した健康づくりの取組を進めます。

取組み…「くさつヘルスアッププロジェクト」など

重点施策4 地域で取り組む健康づくり

重点評価指標…健康推進員の増加

市民が身近な地域で健康づくりに取り組める環境や仕組みづくりをすすめていくために、地域ごとの健康状態についての様々なデータを分析し、地域の健康特性等の情報提供を行います。まちづくり協議会などの地域の団体が地域の特性にあわせた健康づくりのサポーターの育成や、健康づくりの活動がしやすい環境づくりなどが行えるよう、健康宣言の実現に向けた地域等の主体的な健康づくりの取り組みを支援します。

また、ライフスタイルや価値観が多様化するなかで、地域課題を解決していけるよう、協働のまちづくりをすすめます。

取組み…「健康推進員養成講座、現任研修」、「健康のまち草津モデル事業」、「食品表示学習会」、「認知症サポーター養成講座」など

重点施策5 企業、団体、大学等との多種多様な協働による健康づくり

重点評価指標…食品中の食塩や脂肪低減に取り組む飲食店の増加

多種多様な主体の協働による健康づくりの取り組みがすすめられるよう、健康づくりの情報を共有し、様々な視点で健康を捉えて連携する仕組みづくりが必要です。

また、市民が日常的に健康づくりに関する情報に接することができるよう、市からの情報発信に加え、他機関、団体等と連携した情報発信を推進します。

取組み…「くさつヘルスアッププロジェクト」、「草津版ヘルスツーリズムの構築に向けた調査・検討」、「シルバー人材センター補助金」など